

クルーズ船火災 続報 - 西日本防災システム

2013 02 16

乗客乗員4200人あまりを乗せたクルーズ船「カーニバル・トライアンフ」が、メキシコ湾を航行中に火災を起こして航行不能になった事故はお伝えしましたが、運航会社のカーニバル・クルーズラインは同船がアラバマ州モービルの港に曳航されると発表しました。

カーニバル社は船の到着に備え、100台近いバスを手配し、ニューオーリーズのホテルに1500室を超える客室を予約。また、出発地に近いヒューストンまで乗客を届けるため、チャーター機を複数手配したようです。

ところが、船内の状況は大変混乱しているようです。ある乗客の家族によれば、乗客は食料などをもらうための行列に最大で4時間も並ばなければならず、さらに早い者勝ちで配布が行われたため、列の最後尾にいた人はパンと調味料しかもらえなかったという事態も発生。乗客の間では配布をめぐる口論も起きたようです。

また、トイレは一部しか機能せず、待ちきれない人は医療用ゴミ袋を使って用を足しているといいます。

乗客らによれば停電によって船の排水システムが完全に停止し、下水が廊下や客室にあふれ出す状態になっているそうです。空調設備も動かなくなり、乗客は涼しい空気を求めてデッキに出ているようです。

カーニバル社の客船が火災を起こしたのはこれが初めてではないそうです。2010年にも別の船が太平洋上でエンジン室から出火し、トイレがあふれるなど「今回とまるで同じ状態だった」と、この時の乗客は言っています。

カーニバル社は事故を起こした船の乗客に料金を全額返金するほか追加で500ドル、帰りの交通費などを負担。無料で別のツアーに招待するとしています。ですが乗客の家族は「2度とこの会社の船に乗る気にはならないだろう」と語っています。 **出来るのか？信頼回復**



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

